

生涯教育研修会報告書

学術部 学発番号 第 12-065 号

平成 25 年 3 月 17 日報告

報告者: 滝本寿史

所属: 綾部市立病院

連絡先: 0773-43-0123

日時: 平成 25 年 3 月 16 日(土) 14:15~17:50

場所: 舞鶴医療センター内地域医療研修センター

行事名: 第 13 回京都北部CDEの会講習会

プログラム 1: 症例発表

- (座長) 村上美智子(綾部市立病院看護師)
(アドバイザー) 四方泰史(あいおい橋四方クリニック院長)
(発表者) 井田裕美(荒木クリニック看護師)
角出孝子(舞鶴赤十字病院看護師)
天野初美(綾部市立病院訪問看護ステーション看護師)

プログラム 2: 症例検討会

- (座長) 上田善美(国立病院機構舞鶴医療センター薬剤師)
(アドバイザー) 四方泰史(あいおい橋四方クリニック院長)
(発表者) 田路朋哉(三安ゆう薬局薬剤師)
南 陽子(グレイスヴィルまいづる管理栄養士)
坂根悦子(京都協立病院管理栄養士)

主催: 京都北部CDEの会

共催: 京都府看護協会/京都府臨床検査技師会/武田薬品工業株式会社

後援: 京都府薬剤師会/京都CDEの会

全体参加人数: 34 人

京臨技会員: 1 人

以下、内容

「多職種からみた糖尿病患者のケアの工夫」を主題に、看護師はクリニックと総合病院と訪問看護、薬剤師は調剤薬局、管理栄養士は特別養護老人ホームと病院、それぞれの立場から症例発表があった。高齢の糖尿病患者への関わり、CGM を利用した治療への取り組み、訪問看護における糖尿病利用者の実際、糖尿病を暮らしの場で考えたときなどの内容であった。

病院勤務の職種だけでなく、クリニックや訪問看護、調剤薬局、特別養護老人ホームからの発表があり、興味が得られた。